## 平成24年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

## 事業名 ||学生滞在型まちづくり活動支援事業

<u>事業コード</u> 2944

	基本施策	基本目標	属性		基本施策			実施施策			
総合計	体系	市民が主役の地方主権のまちづくり	行政運営	効率的な行政運営を推進する			民間力の活用		0051		
画	重点施策	重点施策		分類(大)			分類(小)		6051		
画体系	体系	「人の増えるまち」づくり	若者が活躍 充実		こしやすい環境	の若者連携			<u>821</u>		
	部署名	企画財政課		開始年		終了年度	2012				
B	目的	鯖江市に滞在し、まちづくり 部を助成し、滞在環境を整え 域のアピールを図る。また、	に関する調査・研究 ることで若い世代の 学生の若い感性によ	E、スポ− )呼び込∂ こる提案や	−ツ・学術研究 タを図り、鯖江 シ提言を受ける	等の合宿を行 の地場産業や ことで、ま <i>ち</i>	う大学生のク ○風土、人情に らづくりに生か	ブループに対し 触れていただ いしていく。	、宿泊費の一 くことで、地		
PLAN(計画)	概要	鯖江市に滞在し、まちづくり 【まちづくり提案型】まちづ 【スポーツ合宿型】スポーツ	くりの研究を行い、	市に対し	、て提案、提言	を行う。(1)	人1泊あたり1.	500円助成)			
I)	法令 根拠	法令根拠									
	実施 形態         現在 市として県へ補助金申請を伴う業務も含まれており、民間 へ委託することは不可能である。										
	活動指標										
	活動指標										
	活動指標	指標名	単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26 (2014)		
		指標名 D周知活動(IIP掲載)回数	単位	年度 目標値	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
					H22(2010)			H25(2013)	H26(2014)		
				目標値	H22(2010)	1		H25(2013)	H26(2014)		
	大学等への			目標値	H22(2010) H22(2010)	1		H25(2013)	H26(2014)		
D	大学等への	D周知活動(HP掲載)回数		目標値 実績値		1	1				
DO(	大学等への	D周知活動(HP掲載)回数 指標名	単位	実績値		1 1 H23(2011)	1 H24(2012)				
00(実施	大学等への成果指標	D周知活動(HP掲載)回数 指標名	単位	目標値 実績値 年度 目標値 達成率		1 1 H23(2011) 4 <b>50</b>	1 H24(2012)				
DO(実施)	大学等への	D周知活動(HP掲載)回数 指標名	単位	目標値 実績値 年度 目標値 実績値		1 1 1 H23(2011) 450 498	1 H24(2012)				
DO(実施)	大学等への成果指標	D周知活動(HP掲載)回数 指標名	単位	目標値 実績値 年度 目標値 実績値 達成%)		1 1 1 450 498 110.7	1 H24(2012)				
DO(実施)	大学等への対象を表現しています。大学等への対象を表現しています。大学等への対象を表現しています。大学等への対象を表現していません。	D周知活動(HP掲載)回数 指標名	単位人	目標値 実績値 年度 目標値 実績値 変(%) ランク		1 1 1 450 498 110.7	1 H24(2012)				
DO(実施)	大学等への対象を表現しています。	D周知活動(HP掲載)回数 指標名 車携・協働事業参加学生数 H23(2011) H24(2012	単位人	目標値 実績値 年標値 実達成(%) ランク 実数値	H22(2010)	1 1 1 450 498 110.7	1 H24(2012)				
DO(実施)	大学等への対象を表現しています。	加周知活動(HP掲載)回数 <b>指標名</b> 車携・協働事業参加学生数 H23(2011) H24(2012 1 883 1,	単位人	目標値 実績値 年標値 実達成(%) ランク 実数値	H22(2010)	1 1 450 498 110.7 A	1 H24(2012) <b>500</b>				

## 平成24年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

		r			در	44 とませみた	リレの六	オコ ト	フナナベノハ	+ 地域に二年と近州ルナナナトナナ		
CIECK(評価)	必要性	あります	のニーズは十 けか。	<del>-分に</del> ある	根拠	であり、必要	不可欠	である	00	は、地域に元気と活性化をもたらすも		
		【行政関 行政が すか。	夫他りへさま	<b>業で</b> はい	根拠	該事業は市が 間へ委託する	Nら学生 Sことは	等への 不可能	補助、および! どである。	県へ補助金申請が主たる業務であり、		
	効率·効果		または民間の 競合している事 すか。	のサー	主体事業名	3				【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 不可能		
				ない	根拠							
		【類似重複】 本市の事務事業 目的や概要が類 務事業はないで	事務事業の中概要が類似す	で、	听管言 事業名					【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 不可能		
				ない	根拠							
		【コスト削 今以上 る余地	に、コストを削 はありますか	<b> 減す</b> 。	根拠	前助要綱に基つ	がくため					
	有	る方法	<mark>に、財源を確はありますか</mark> なし	保す。	根拠	人の補助を活用	してお	り、こ	れ以上の財源の	確保は不可能である。		
		【成果向 今以上 余地はあ	りますか。	上させる ある	根拠	<sup>2</sup> 成24年度から	。高校生	を対象	に拡充した。			
	【平成24年度 方向性】			1				【平】	成25年度 方[	25年度 方向性】 維持		
ACTION	平 平成24年度より、制度を一部見直し、高校生と空き家成の滞在を補助対象に加えた。 成立市内の宿泊施設には制度拡充の内容と啓発用チラシを4年配布し、学生の夏季休暇を利用した来鯖に間に合うよ度 り、周知を図った。 取組み				平成24年度から対象を高校生と古民家での合宿にも適平用できるよう内容を拡大して実施している。 成しかし、県の補助事業が平成24年度で一旦終了予定の ため、今後の方向性は、原則維持の方向性とするが、 年県の支援事業の継続の有無を確認して判断したい。 度 計画							
		/ <del>************************************</del>								〈不可能選択理由〉		
	【H25提案型市民主役オープン事業実施】 可能 可能 「ベーー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・」」 「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・「バー・						(1) 引化选扒在口/					
	取	年度 双組選択	H22(2010)	H23(20 不可能		H24(2012) 可能	H25(2 可信		H26(2014)			

未実施

未実施

実施状況